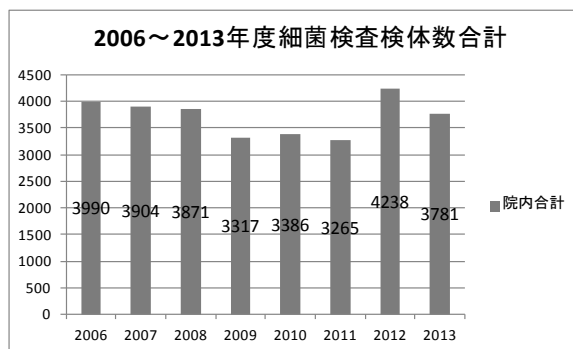
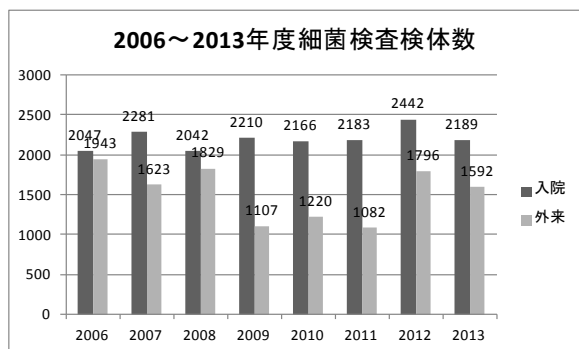


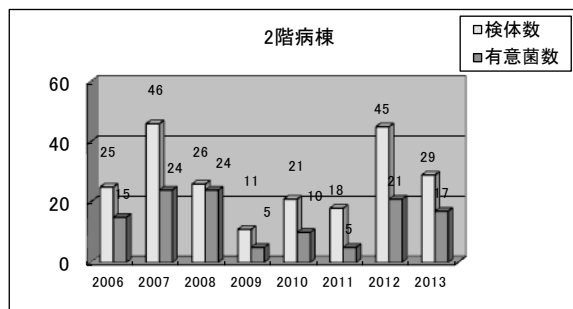
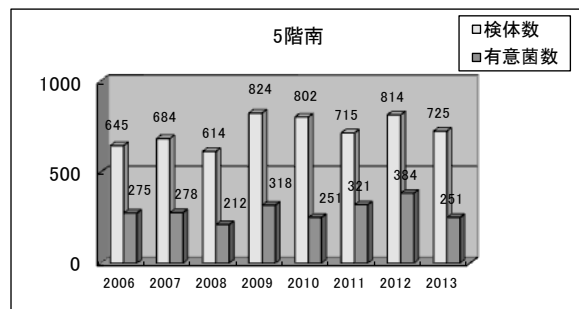
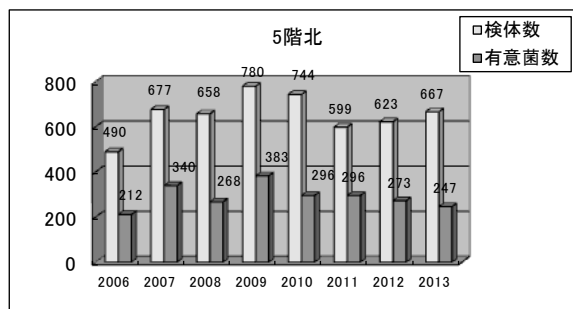
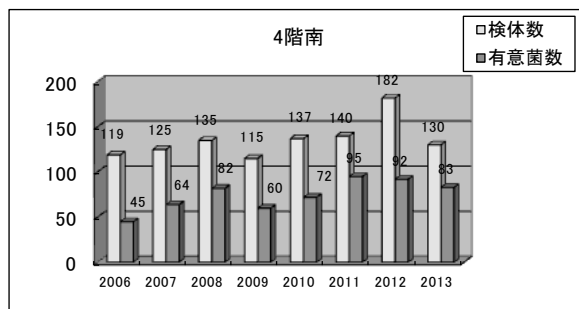
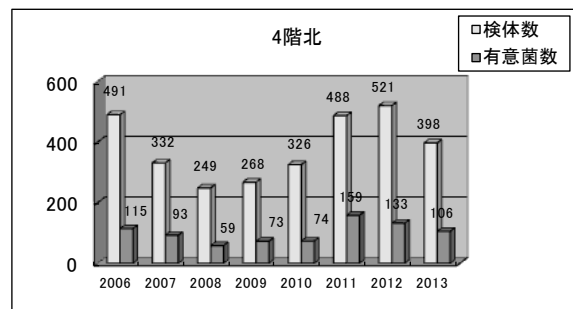
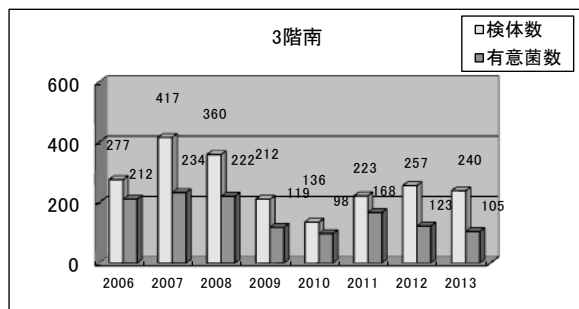
当院の微生物検査の動向

■当院細菌検査年間検査数（2006～2013年度）



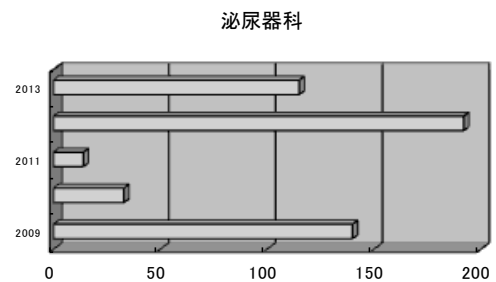
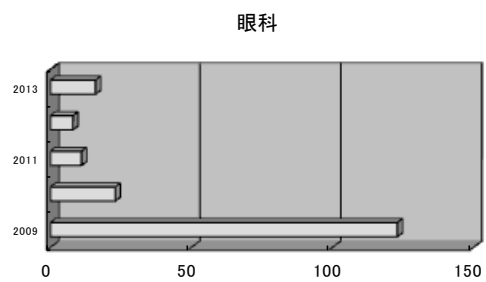
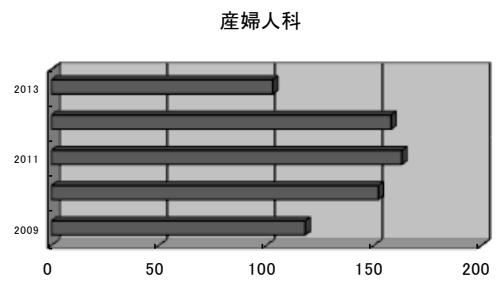
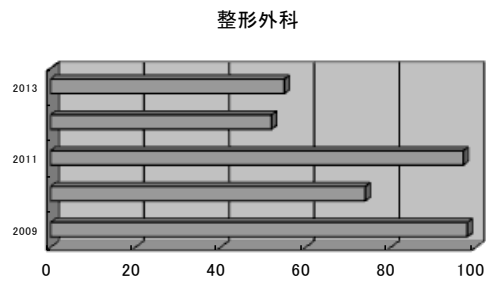
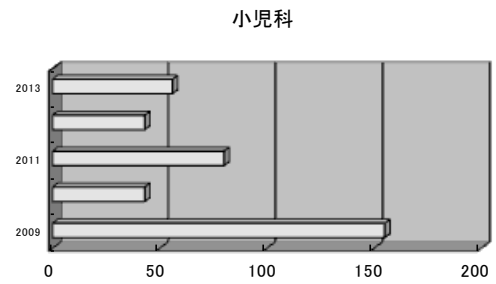
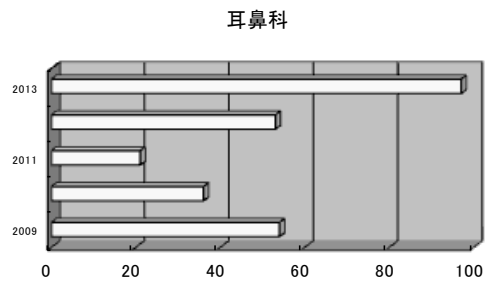
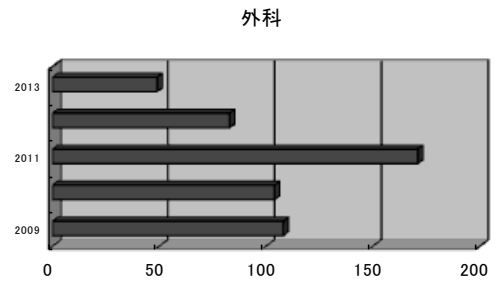
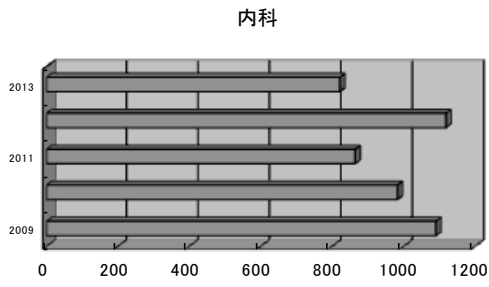
年間検体数に関しては、昨年度と比較すると減少しているが、過去のデータからすると、並行もしくは、増加傾向にあると言える。その要因として、血液培養の検体数の大幅な増加が挙げられる。今後も血液培養は、更に増加することが考えられる為、細菌検査の検体数が増加していくことが考えられる。

■当院細菌検査年間検査数（2006～2013年度）



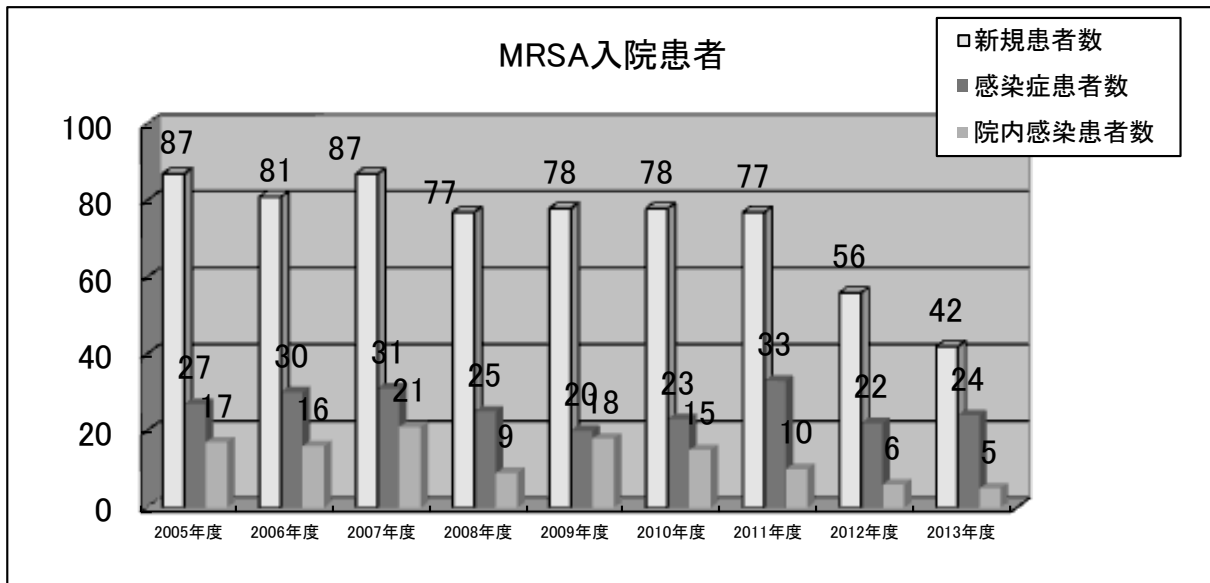
検体数に関しては、5階北病棟で増加していた。その他の病棟に関しては、昨年と比較して減少している。全体的に見ると、2011年度と似たような検体数になっている。有意な菌に関しては、どの病棟でも減少している。

■当院細菌検査年間検査数（2006～2013年度）



診療科別有意菌の推移に関しては、内科が昨年と比較して、約200株減少していた。泌尿器科でも、昨年より減少している。一方、耳鼻科では、昨年の倍近くに増加していた。

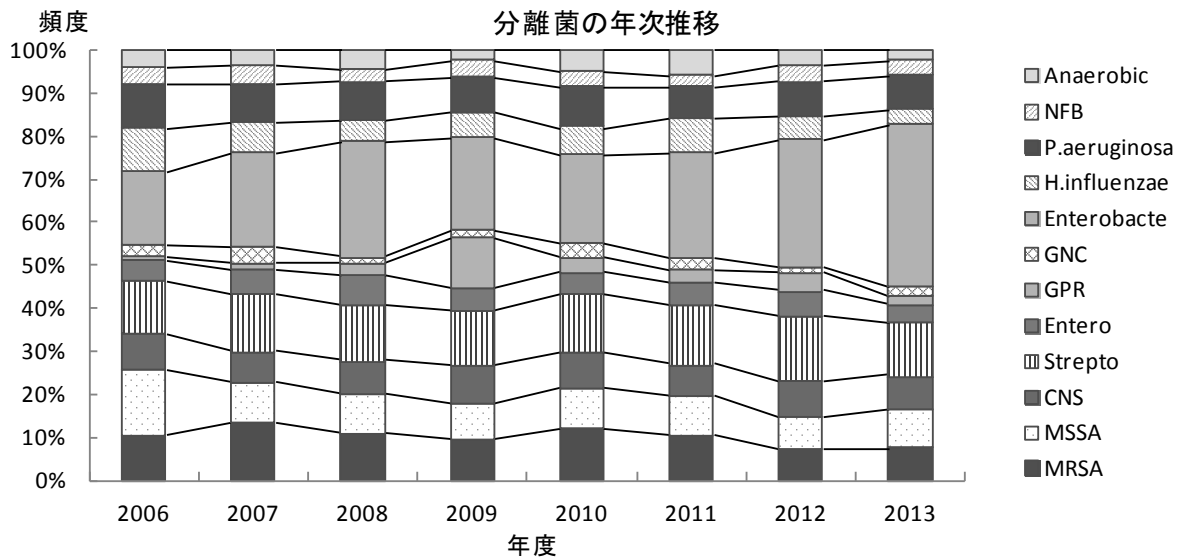
■ MRSA 入院患者数（2005～2013年度）



MRSA 入院患者数に関しては、新規患者数が年々減少傾向にあり、今年度は 2007 年度の約半数となる 42 株と、大幅に減少した。

院内感染患者数も 5 件と、減少傾向にあると言える。

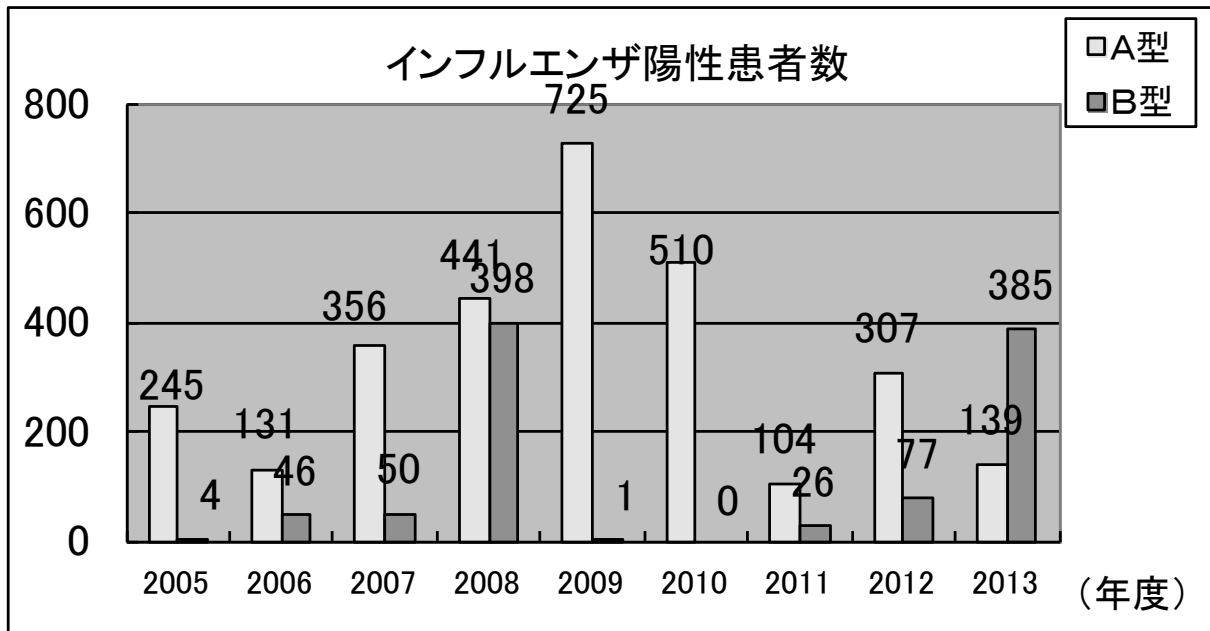
■ 分離菌の年度別推移（2006～2013年度）



検体数に関しては、5 階北病棟で増加していた。その他の病棟に関しては、昨年と比較して減少している。全体的に見ると、2011 年度と似たような検体数になっている。

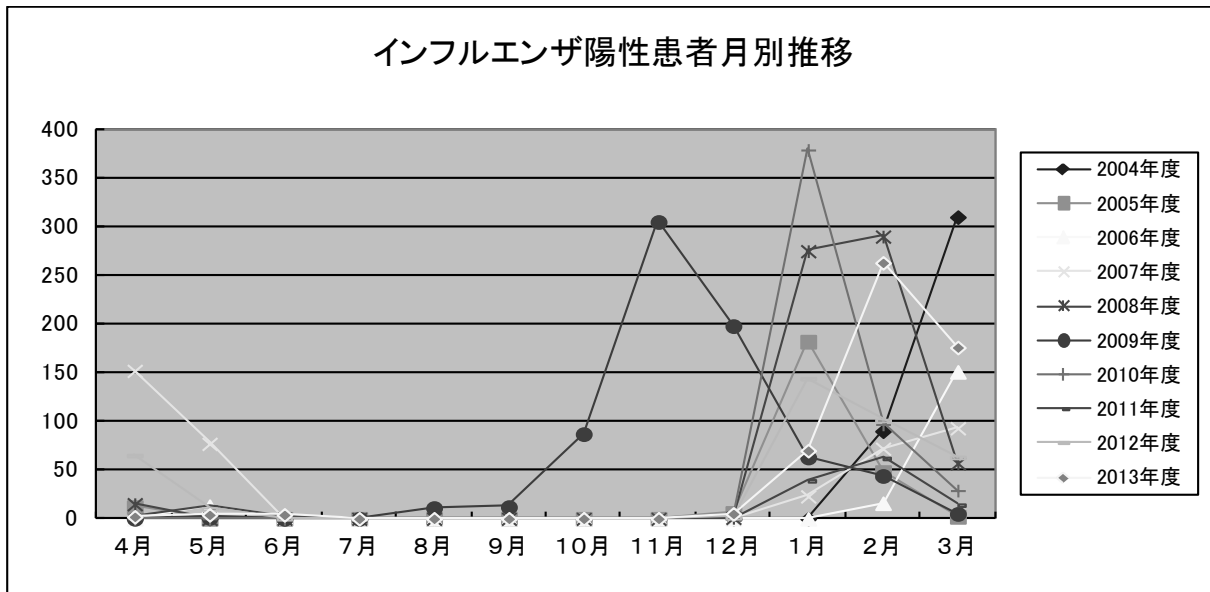
有意な菌に関しては、どの病棟でも減少している。

■インフルエンザ年度別患者数（2005～2013年度）



インフルエンザ患者数に関して、今年度はA型が139件、B型が385件となっており、昨年と比較して、約120件の増加がみられた。今年度は、例年とは違いB型が多かった。

■インフルエンザ月別推移患者数（2004～2013年度）



インフルエンザ月別推移に関しては、例年通り1月初めから陽性が出始め、2月がピークとなり、次第に減少している。

抗菌薬感受性率 (2013年4月～2014年3月)								
グラム陽性球菌								
	M R S A	黄色ブドウ球菌 (M S S A)	表皮ブドウ球菌 (C N S)	肺炎球菌	A群溶連菌	B群溶連菌	腸球菌 (E.faecalis)	腸球菌 (E.faecium)
PCG (ペニシリンG)		35.8%	12.9%	100.0%	100.0%	100.00%	100.0%	28.6%
MPIPC (オキサシリン)			31.3%					
ABPC (ピクシリン)		32.0%	15.6%	96.0%	100.0%	100.0%	96.9%	33.3%
CEZ (セファメジン)	49.4%	100.0%	81.5%	54.2%	88.9%	95.2%		
CTX (クラフォラン)	20.5%	100.0%	53.8%	95.8%	100.0%	100.0%		
IPM (チエナム)	67.1%	100.0%	70.4%	91.7%	100.0%	90.5%	96.8%	28.6%
ABK (ハベカシン)	97.3%	100.0%	96.2%					
CLDM (ダラシン)	75.0%	100.0%						
MINO (ミノサイクリン)	83.3%	100.0%	96.9%	36.0%	88.9%	48.8%	34.4%	88.9%
VCM (バンコマイシン)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
TEIC (タゴシッド)	100.0%	100.0%	85.2%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
LZD (ザイボックス)	100.0%	100.0%	100.0%					
LVFX (クラビット)	40.3%	88.5%	33.3%	95.7%	88.9%	83.7%	78.1%	22.2%
S/A (ユナシン)	52.1%	100.0%	88.5%				100.0%	28.6%

■ : 感受性率 0 ~ 50%

■ : 感受性率 50 ~ 70%

抗菌薬感受性率 (2013年4月～2014年3月)									
グラム陰性菌									
	大腸菌	クレブシエラ	エンテロバクター	シトロバクター	プロテウス	セラチア	緑膿菌	アシネトバクター	インフルエンザ菌
ABPC(ピクシリン)	62.8%	6.50%	0.00%	12.5%	60.30%	0.00%	68.7%	42.9%	43.3%
CEZ(セファメジン)	77.0%	76.70%	15.8%	14.3%	63.20%	0			100.0%
CTM(パンスポリン)	83.4%	92.50%	26.3%	62.5%	70.60%	0			100.0%
CAZ(モダシン)	94.8%	99.50%	100.0%	71.4%	100.0%	91.7%	91.5%	100.0%	100.0%
CTR(ロセフィン)	100.0%	100.0%					0%		100.0%
CPDX(バナン)	75.5%	97.70%	57.9%	57.1%	95.5%	66.7%			100.0%
FMOX(フルマリン)	98.2%	96.50%	31.6%	62.5%	100.0%	33.3%			100.0%
IPM(チエナム)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	80.10%	58.30%	79.7%	100.0%	100.0%
MEPM(メロペン)	100.0%	99.40%	100.0%	100.0%	100.0%	66.7%	81.4%	100.0%	100.0%
GM(ゲンタシン)	86.8%	95.80%	100.0%	100.0%	85.50%	100.0%	94.9%	85.7%	
AMK(アミカシン)	100.0%			100.0%			100.0%	100.0%	
MINO(ミノサイクリン)	79.4%	88.90%	52.6%	62.5%	5.0%	66.7%	1.5%	0%	100.0%
FOM(ホスミシン)	89.6%	30.60%	15.8%	100.0%	68.2%	33.3%	4.5%	100.0%	
CPFX(シプロキサ)	72.6%	94.80%	89.5%	100.0%	68.2%	100.0%	79.7%	100.0%	100.0%
LVFX(クラビット)	75.1%	95.80%	100.0%	100.0%	81.8%	100.0%	72.9%		100.0%
S/A(ユナシン)	71.8%	89.20%	31.6%	71.4%	90.50%	8.3%			61.5%

■ : 感受性率 0～50%

■ : 感受性率 50～70%